

自由な夏休み！さあ、何をする？

明日から、いよいよ夏休みが始まります。子供のころを思い出すと、ラジオ体操とプール、そしてカブトムシ捕りをして過ごしていました。一夏に一度むけるくらい日焼けをしていたのを思い出します。

夏休みの生活は、まず「命」最優先です。命を危険にさらすような生活をしてはいけません。子供達には、命を奪ってしまうものとして「水」「火」「車」「人（不審者）」があること。危険な行動をしたり、危険なところに近づいたりしないことを話しました。

さて、子供達は夏休みをどのような気持ちで迎えているのでしょうか？自由な時間が増えるので喜んでいる子が多いと思いますが、「自由だからどうしていいかわからない」と困っている子もいるかもしれません。「自由な時間がある」ということは「好き勝手に何も考えずに過ごす」ということではなく「自分で考えて行動を決めることができる」ということだと思います。年を重ねていくと、自分で考えて行動を決めていくことが増えていきます。その練習をするのが夏休みです。以前、子供達に「『人は、何のために考えるのか』それは、『よりよくなるため、よりよくするために考える』」と話したことがあります。「よりよい自分になりたい」「よりよいクラスや学校にしたい」「よりよい家族にしたい」…などと自分で考え、行動にうつすことができれば素敵な夏休みになることでしょう。例えば、「読書が好きだから（苦手だから）毎日、30分以上読書をする」「理科が好きだから（苦手だから）、自由研究をする」「お父さんとお母さんが仕事を頑張っているから、毎日食器洗いをする」「おじいちゃんとおばあちゃんが大変そうだから、草取りを手伝う」…など、考えて行動にうつすことは自分の周りにたくさんあります。この積み重ねが、学校教育目標の1つである「考動」、子供達が考えた目標の「チャレンジ」につながっていきます。

ご家庭で、夏休みのくらしについてじっくり話されてください。

2学期になったら、自分で考えて行動した話をたくさん担任の先生にしてください。でも、なかなか行動できなかったこともあると思います。そんな時は、なかなか行動できなかった話を担任の先生にしてください。みなさんの話を待っています。

たくさん食べたよ！みょうが饅頭！！

7月8日（火）に坂本中学校でみょうが饅頭を作りました。1・2・4年生と坂本中のお兄さんお姉さんが参加し、地域の方々が生徒の先生となり作っていきます。まず、粉をこねて生地を作ります。次にあんを丸めます。まん丸になるように上手に丸めることができました。そして、あんを生地で包みます。あんがはみ出ないように慎重に包んでいきます。最後にみょうがの葉で包んで蒸します。できあがったら、待ちに待った試食です。子供達はおいしそうに1つ、2つ…と食べていました。私も初めていただきました。もちもちした生地にちょうどよい甘さのあんが包まれており、大変おいしかったです。地域の方々に感謝です。



7月6日（日）に八代市PTA親睦スポーツ大会（ふらば～るバレーボール）が行われました。八竜小と坂本中のPTAがお世話役でした。PTAの方々と教頭先生のおかげで、スムーズな大会運営が行われました。1勝することもできました。お疲れ様でした！